



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月1日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 札幌 操
 (氏名) 廣川 正彦
 TEL 03-6711-8121
 配当支払開始予定日 2018年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	235,242	2.7	29,515	△6.3	32,244	△2.7	22,394	14.4
2018年3月期第2四半期	229,035	9.2	31,495	2.9	33,148	12.3	19,581	2.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 29,431百万円 (0.2%) 2018年3月期第2四半期 29,364百万円 (245.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	66.23	—
2018年3月期第2四半期	56.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	646,686	429,169	61.8	1,193.13
2018年3月期	640,284	413,541	60.1	1,136.32

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 399,836百万円 2018年3月期 384,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2019年3月期	—	16.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	479,000	3.5	54,000	△8.4	58,000	△5.1	40,000	7.9	119.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	349,942,682 株	2018年3月期	349,942,682 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	14,825,621 株	2018年3月期	11,239,478 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	338,138,873 株	2018年3月期2Q	346,196,068 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心に景気の回復が続くとともに、日本経済においても、景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の深刻化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高2,352億42百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益295億15百万円（同6.3%減）、経常利益322億44百万円（同2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益223億94百万円（同14.4%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の販売数量が微減となったものの、その他用途が増加したことにより、売上高は横這いとなりました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓に取り組んだものの、市況軟化の影響や、一部販売時期ずれなどによる販売数量の減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、420億43百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は、原燃料価格の上昇や市況軟化の影響などにより、85億75百万円（同22.2%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、堅調な需要や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

合成品は、販売数量の増加や市況上昇の影響などにより、売上高は増加いたしました。

機能品は、前年度の過酢酸製造プラントでの火災事故による影響からの回復に加え、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定や、コスメ・ヘルスケア分野の需要が好調に推移したことなどにより、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、カラムや充填剤の販売が増加したことや、インドでの新規事業が伸びたことなどにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、451億33百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は、販売数量の増加や原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定の影響などにより、70億88百万円（同95.5%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、自動車部品の需要増加や新規採用が進んだことによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主にフィルムの販売が増加し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、895億70百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は、販売数量は増加したものの、原燃料価格上昇の影響などにより、118億95百万円（同2.1%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売数量は増加したものの、販売品種構成の変化などにより、売上高は微減となりました。

防衛関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、555億26百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は、販売品種構成の変化などにより、98億21百万円（同15.7%減）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の売上高は、横這いとなりました。

運輸倉庫業などその他の事業の売上高は、減少いたしました。

当部門の売上高は、29億69百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は、2億19百万円（同19.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金等の減少がありましたが、たな卸資産や有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し64億2百万円増加し、6,466億86百万円となりました。

負債は、主に社債等の減少により、前連結会計年度末に比し92億25百万円減少し、2,175億17百万円となりました。

また純資産は、4,291億69百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,998億36百万円となり自己資本比率は61.8%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,067億8百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は269億41百万円（前年同期は、297億15百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益350億96百万円および減価償却費146億59百万円であり、資金減少の主な内容は、たな卸資産の増加100億23百万円および法人税等の支払額73億94百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は241億18百万円（前年同期は、206億23百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出235億25百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は249億73百万円（前年同期は、178億85百万円の増加）となりました。資金減少の主な内容は、社債の償還による支出100億円、自己株式の取得による支出46億79百万円、配当金の支払額54億19百万円および非支配株主への配当金の支払額38億97百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、第2四半期までの業績動向と、第3四半期以降の一部製品の市況前提の見直しなどを踏まえ、2018年5月10日に公表した業績見通しを下記のとおり修正しております。

<2019年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	478,000	51,000	53,000	37,000	109円24銭
今回発表予想(B)	479,000	54,000	58,000	40,000	119円36銭
増減額(B-A)	1,000	3,000	5,000	3,000	
増減率(%)	0.2	5.9	9.4	8.1	
(ご参考) 前期実績	462,956	58,932	61,093	37,062	107円81銭

※1. 業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

※2. 今回発表予想の第3四半期以降の前提につきましては、為替相場は110円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$360/ton、ドバイ原油価格はUS\$70/bbl、国産ナフサ価格は52,000円/k1を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,358	96,613
受取手形及び売掛金	93,256	94,695
有価証券	3,929	11,525
たな卸資産	109,295	120,838
その他	17,418	18,545
貸倒引当金	△44	△51
流動資産合計	349,214	342,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,320	60,230
機械装置及び運搬具(純額)	79,607	78,262
土地	26,754	26,885
建設仮勘定	14,053	24,691
その他(純額)	5,305	5,508
有形固定資産合計	184,041	195,578
無形固定資産		
のれん	1,894	3,837
その他	6,694	7,154
無形固定資産合計	8,589	10,992
投資その他の資産		
投資有価証券	76,390	76,556
その他	22,225	21,568
貸倒引当金	△174	△174
投資その他の資産合計	98,440	97,949
固定資産合計	291,070	304,519
資産合計	640,284	646,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,213	54,922
短期借入金	10,117	11,219
1年内償還予定の社債	10,000	-
1年内返済予定の長期借入金	3,733	3,572
未払法人税等	4,271	5,665
修繕引当金	37	1,063
その他	33,806	33,221
流動負債合計	118,181	109,664
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	25,884	25,509
役員退職慰労引当金	39	47
修繕引当金	869	515
環境対策引当金	4,000	4,323
退職給付に係る負債	12,279	13,219
資産除去債務	1,238	1,299
繰延税金負債	11,069	10,230
その他	3,180	2,708
固定負債合計	108,561	107,852
負債合計	226,742	217,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,642	31,692
利益剰余金	292,104	309,070
自己株式	△14,004	△18,492
株主資本合計	346,017	358,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,410	34,233
繰延ヘッジ損益	58	91
為替換算調整勘定	4,805	6,309
退職給付に係る調整累計額	583	656
その他の包括利益累計額合計	38,858	41,290
非支配株主持分	28,665	29,332
純資産合計	413,541	429,169
負債純資産合計	640,284	646,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	229,035	235,242
売上原価	159,104	165,580
売上総利益	69,931	69,662
販売費及び一般管理費	38,436	40,146
営業利益	31,495	29,515
営業外収益		
受取利息	125	172
受取配当金	770	830
持分法による投資利益	516	924
為替差益	219	965
その他	1,011	1,171
営業外収益合計	2,644	4,063
営業外費用		
支払利息	569	606
環境対策引当金繰入額	—	298
その他	421	429
営業外費用合計	990	1,334
経常利益	33,148	32,244
特別利益		
固定資産処分益	2	7
投資有価証券売却益	353	2,985
受取保険金	700	1,006
特別利益合計	1,055	3,999
特別損失		
固定資産除却損	698	570
クレーム補償費用	85	—
災害による損失	222	577
特別損失合計	1,007	1,147
税金等調整前四半期純利益	33,197	35,096
法人税、住民税及び事業税	8,182	9,402
法人税等調整額	1,488	△722
法人税等合計	9,671	8,679
四半期純利益	23,525	26,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,944	4,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,581	22,394

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	23,525	26,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,736	826
繰延ヘッジ損益	△22	52
為替換算調整勘定	2,572	2,199
退職給付に係る調整額	294	102
持分法適用会社に対する持分相当額	258	△167
その他の包括利益合計	5,839	3,014
四半期包括利益	29,364	29,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,054	24,826
非支配株主に係る四半期包括利益	4,310	4,605

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,197	35,096
減価償却費	15,852	14,659
のれん償却額	474	245
受取利息及び受取配当金	△896	△1,002
支払利息	569	606
持分法による投資損益 (△は益)	△516	△924
固定資産除売却損益 (△は益)	696	563
投資有価証券売却損益 (△は益)	△353	△2,985
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,310	903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,797	△10,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,559	△3,201
その他	△3,089	△514
小計	40,385	33,422
利息及び配当金の受取額	1,003	1,533
利息の支払額	△568	△620
法人税等の支払額	△11,106	△7,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,715	26,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,656	△23,525
有形固定資産の売却による収入	3	9
無形固定資産の取得による支出	△557	△1,191
投資有価証券の取得による支出	△3,162	△97
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,115	4,207
関係会社出資金の払込による支出	—	△2,229
貸付けによる支出	△211	—
貸付金の回収による収入	4	242
その他	△1,158	△1,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,623	△24,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,661	695
長期借入れによる収入	73	218
長期借入金の返済による支出	△2,402	△1,891
社債の償還による支出	—	△10,000
社債の発行による収入	29,849	—
自己株式の取得による支出	△419	△4,679
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△5,881	△5,419
非支配株主への配当金の支払額	△6,446	△3,897
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△549	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,885	△24,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,107	570
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,084	△21,581
現金及び現金同等物の期首残高	96,275	128,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	124,359	106,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,084	39,102	83,719	58,093	225,999	3,035	229,035	—	229,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	917	8,157	3	—	9,078	5,317	14,395	△14,395	—
計	46,001	47,259	83,723	58,093	235,077	8,353	243,431	△14,395	229,035
セグメント利益	11,015	3,626	12,149	11,649	38,440	271	38,712	△7,217	31,495

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7,217百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	42,043	45,133	89,570	55,526	232,272	2,969	235,242	—	235,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,508	10,633	9	—	12,152	5,564	17,716	△17,716	—
計	43,551	55,766	89,579	55,526	244,424	8,534	252,959	△17,716	235,242
セグメント利益	8,575	7,088	11,895	9,821	37,380	219	37,599	△8,083	29,515

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,083百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。